



北海道吹奏楽フェスティバルに向けて練習に励む出演者たち

小学生から社会人まで道内14のブラスバンドが出演する「北海道吹奏楽フェスティバル」が22、29の両日、札幌市生涯学習センター・札幌市生涯学習センター・ちえりあホール（西区宮の沢1）で開かれる。行進曲やミュージカル、映画音楽など多彩な曲を披露する。

吹奏楽の普及を目指す「北海道吹奏楽プロジェクト」と札幌市生涯学習センターが共催し、毎年開催しており、今年で8回目。同プロジェクトは、プロの演奏家を小中高の吹奏楽部に派遣するサポート事業を開催しており、本年度は

既に札幌市立藤の沢小（南区）など8校で実施している。フェスティバルは指導を受けた団体が成果を披露する場でもあるという。

22日は9団体、29日は5団体が出演。それぞれ個別演奏のほか、合同演奏も行う。サポート事業を担っているプロ奏者の吹奏楽団「札幌管樂ゾリストン」の萩原靖弥代表(47)は「音楽を勉強中の学生から社会人までさまざまな音が聴けます。会場に足を運んで、吹奏楽のファンになってほしい」と話す。

入場料は2日間の通し券

14団体がフェス 22、29日に札幌

吹奏楽の響き 幅広い世代で

(前売りのみ) が一般18

00円、身障者と大学生以下は800円。1日のみは

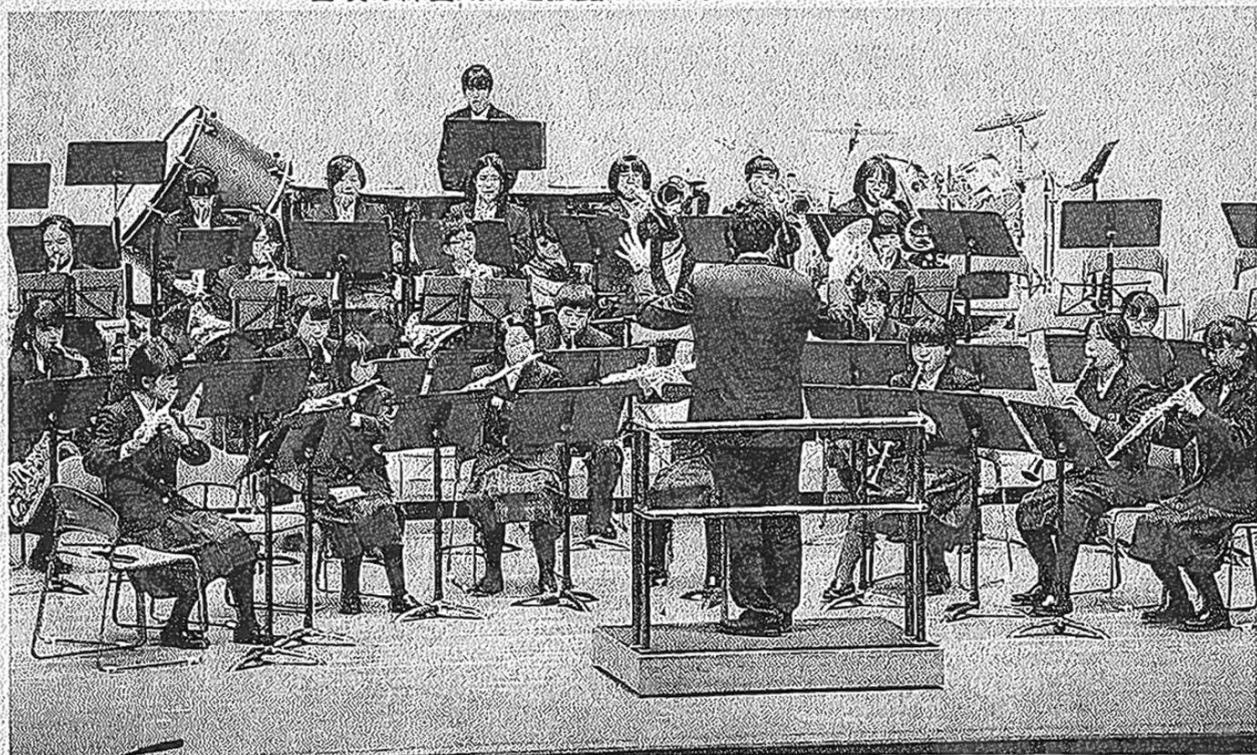
前売りが千円(当日120

0円)、身障者と大学生以下は500円(同600円)

でローソンチケットなどで販売中。

問い合わせはスタジオ・シンフォニカ☎011・215・6400へ。
(山中いづみ)

日頃の練習成果を披露した中学生のプラスバンド



学生プロ息合った旋律♪

道内のプラスバンド14団体が出演する「北海道吹奏楽フェスティバル」が22日、札幌市西区の市生涯学習センター・ちえりあホールで始まった。中高生と大学生の9団体がクラシックや映画音楽などを披露。プロ奏者とも共演し、来場した約440人を沸かせた。

(小林史明)

札幌の音楽関係者でつくる「北海道吹奏楽プロジェクト」と市生涯学習センターの主催。今年で8回目。プロジェクトは、プロの演奏家を小中高の吹奏楽部に派遣して交流を深めながら

道吹奏楽フェス 札幌で開幕

指導している。

フェスは練習の成果を披露する場として開催。行進曲や映画音楽、ミュージカル「キャッツ」の挿入曲などを披露した。プロの吹奏楽団「札幌管樂ゾリストン」のメンバーが各校のステージに加わり、邦楽のメドレーなどを一緒に演奏。生徒や学生は伸びやかな音色を響かせた。

映画音楽、メドレーなど多彩

最終日の29日は午後2時半から、同じ会場で開く。小中高の4団体と、ゾリストンの指導を受けた生徒、学生でつくる「アカデミーバンド」が出演する。入场料は前売り千円(当日1200円)、身障者と大学生以下は500円(同600円)。問い合わせはスタジオ・シンフォニカ 011-215-6400へ。